

今回のトピック

冬季の火災の発生にご注意ください！

乾燥により火災の被害が拡大！

連日の新型コロナによるニュースとは別に、火災発生のニュースが増え始めました。乾燥によって、冬の火災は被害が大きくなる傾向にあります。今回は、名古屋市の火災の状況を例に火災についてのトピックをお届けいたします。

11月15日現在 名古屋市の火災発生数と、発生原因

11/15現在 火災件数 434件

2018年 火災件数 569件

発生原因

1位 タバコ 121件

2位 放火 108件

3位 ガスコンロ 69件

寝タバコは止め、火の元の始末には十分に気を付けましょう。

建物・車などの付近に燃えやすいものを置かないように気を付けましょう。

これまで、火災発生原因の1位は、「放火」でしたが、防犯カメラの設置の増加が主な原因となって、放火(疑い含む)の件数が大きく減少しました。しかし、それ以前から2位の「タバコ」による火災の件数は依然多く、現在の原因1位となっています。特に寝タバコによる火災が後を絶ちません。皆様もくれぐれもご注意ください。



ニュータスはBCPに取り組んでいます！

事業継続計画(BCP)とは [BCP - Business Continuity Planning](#)

BCP(事業継続計画)とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続、あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。

どうしてニュータスはBCPに取り組むのか？

その理由は、裏面をご覧ください。

ニュータスの使命

ニュータスは、万一の時に保険によって

お客様を支え、助ける事が事業であると同時に、使命だと考えます。

大規模災害が起きた時、我々はこの使命をしっかりと果たすことができるのか？

2011年の東日本大震災後にボランティアとして訪れた地で、全てを奪い去っていった自然の驚異を目の当たりにしました。

大規模災害が発生した時には、私たち自身も被災していることが想定されます。

そんな時に、私たちが保険代理店としての使命を果たすには、お客様よりも早く事業を再開し、お客様のために動ける体制を整えることが必要になります。

ニュータスでは、「災害に強い保険代理店」として、東日本大震災後のボランティア体験から学んだことを元に、事業継続計画(BCP)を設定しています。



このBCPでは、災害時に社員の安全を確保して私たち自身の事業継続を確立すること。素早い営業再開によって、お客様からのSOSをいち早く受け取り、お客様へ安心をお届けすること。また、私たちが活動をする地域社会の復興へ貢献することを定めています。

ニュータスの使命として、災害が起こった時に保険が持つ機能を最大限発揮し、お客様にとっての事業継続と、地元根ざした保険代理店として地域社会の復興に尽力していくことを宣言いたします。

BCPによって、より安心できるお客様へのサービスを！

大災害に備えるために、お客様のリスクを一緒に考えます。
(災害によるリスクに合わせた最新・定期的なご提案)

大災害後に、保険の支払いまでしっかりとお手伝いできます。
(お客様サービス室の事故対応で、お客様のご負担を軽減)

各地拠点のネットワークで、お客様をしっかりとフォローします。
(担当者がいなくてもお客様をフォローできる全社体制)

災害時にお客様と早期に連絡が取れる体制確立を目指します。
(被災後の早期の営業再開)

NEWTUS
For Better Insurance Solution

株式会社ニュータス

フリーダイヤル 0120-977-577
FAX 0120-977-177
ホームページ <https://www.newtus.com/>

名古屋本社 名古屋市中区栄2-2-31 ニュープラスビル7F
東京営業部 東京都中央区銀座6-13-16 ヒューリック銀座ウオールビル408号
津島支社 愛知県津島市柳原町2-58-13 3F
愛岐支社 愛知県一宮市せんい2-9-16 ササキセルムビル 3F
京都T&I支社 京都府京都市中京区西錦小路町267-301
福岡支社 福岡市博多区博多駅前3-9-5 チサン第一717号
尾張さんゆう支社 愛知県愛西市善太新田町十割上40